



アメリカ、他

## 危険なビーズバッグチェアをリコール

● CPSC: 米消費者製品安全委員会 ホームページ <http://www.cpsc.gov/en/Recalls/2016/Ace-Bayou-Reannounces-Recall-of-Bean-Bag-Chairs/>  
● ACCC: オーストラリア競争・消費者委員会 ホームページ <http://www.productsafety.gov.au/content/index.phtml/itemId/971646> ほか

CPSC(消費者製品安全委員会)と家具メーカーの Ace Bayou 社は 2014 年 8 月、1995 ~ 2013 年に販売されたビーズバッグチェア 220 万個のリコールを発表したが、消費者からの連絡がわずか 790 件に過ぎず、2015 年 12 月再告知を行った。対象製品は、中身のポリスチレン製ビーズの補充用に引手つまみ付きファスナーが付いた中袋と引手つまみ無しファスナーが付いたカバーの二重袋構造で、丸型(直径約 76 ~ 100cm の大・中・小 3 サイズ)と L 字型(約 46 × 76 × 76cm)がある。全国の家具店、量販店や通販でも購入可能。

当初のリコール前には、テキサス州の 13 歳男児とケンタッキー州の 3 歳女児が、引手つまみが無いにもかかわらずカバーのファスナーを開け、中袋に潜り込みビーズに埋もれて窒息死した。その後も 6

歳男児の事故が報告されている。

業界団体では 1996 年、「ファスナーを開けられないようにする」「ビーズによる窒息の危険性を明記する警告ラベルを添付する」などの自主基準を定めたが、今回の対象製品は警告ラベル添付のみで自主基準に違反している。そのため CPSC では、早急に同社が無償配布している修理キット(ファスナー止め金具)を入手し、カバーのファスナーを開けられないよう対処してほしいと呼び掛けている。

オーストラリアでは 1983 ~ 1986 年にビーズバッグ製品で 2 人の子どもが犠牲になったことから、1987 年に国によるビーズバッグ向け消費者製品強制安全基準が制定された。2014 年には警告ラベルと子どもが開けにくいファスナーの詳細要件を明確に規定する改正案が成立し 2016 年 1 月 1 日に発効した。



イギリス

## 電力会社の消費者満足度調査

● Which? ホームページ <https://press.which.co.uk/whichpressreleases/big-six-energy-suppliers-still-failing-customers/>  
<http://www.which.co.uk/energy/saving-money/reviews-ns/energy-companies-reviewed/best-and-worst-energy-companies/>  
<http://www.which.co.uk/campaigns/fair-energy-prices/> ほか

日本では 2016 年 4 月より電力の小売りが全面自由化されるが、イギリスでは 1989 年電力事業の分割民営化が始まり、1999 年に完全自由化された。現在電気販売事業は、いわゆるビッグ 6 といわれる大手 6 社が契約総数 2,700 万件のうちほぼ 9 割を占めている。

Which? は、毎年電気販売事業者に対する消費者満足度調査を実施しており、このほど結果を公表した。これは 2015 年 10 月に 8,900 人余りを対象に、現在契約している事業者 25 社について、顧客サービス、コストパフォーマンス、料金の正確・明朗性、苦情対応、節電の助言などの項目を 5 段階で評価し満足度を数値化したもの。満足度 82% でトップに立ったのは 5 年連続で契約数が数万 ~ 数十万の独立系小規模事業者であった。これに対し最下位は 6 年

連続ビッグ 6 の 1 社で満足度 41%、残り 5 社も平均値(53%)程度と低かった。Which? では、さらに電話対応の待ち時間や、法令・規則違反による処罰や制裁の有無、料金メニューや単価の妥当性も加味し、2 社を「推奨事業者」とした。

2014 年政府が各社に最低価格メニューの提示を義務化したにもかかわらず、政府統計では、より安いメニューや電力会社への転換実績は電気・ガスともにわずか 10% ほど。75% 近くが、割高な「標準メニュー」のままであるという。Which? では無料の「料金メニュー比較サイト」を提供しエネルギー公正価格キャンペーンを展開、電力販売市場の改善を CMA(競争市場局)に求めている。CMA では、独立監視機関 Ofgem(ガス・電力市場局)の付託を受けビッグ 6 の寡占に関する全面調査を行っている。



## ドイツ

# 菜食主義者は栄養バランスに注意を

- 商品テスト財団 ホームページ <https://www.test.de/thema/vegetarische-ernaehrung/>
- エコ・テスト出版『エコ・テスト』2014年6月号 ホームページ <http://www.oekotest.de/cgi/index.cgi?artnr=104240&bernr=04&gartnr=1&suche=vegane>
- ハンブルク消費者センター ホームページ <http://www.vzh.de/ernaehrung/334670/nix-mit-tieren-aber-gesund.aspx> ほか

ドイツのベジタリアン(菜食主義者)は約700万人、そのうち、動物由来の乳製品、卵、蜂蜜等も口にしないビーガン(完全菜食主義者)は約80万人いるといわれる。肉の摂取量が少ない「ゆるベジ」まで含めると、人口の半数に達するという統計もある。

菜食の中心となるのは大都市に住む女性で、動機は動物愛護、環境保護、健康上の観点などさまざま。

このような状況から、ドイツではベジタリアン向けのレストランや食料品店が充実しており、肉を使わない料理のレシピ本も多数出版されている。

ベジタリアンの栄養補給源として、強い味方となる食材が大豆である。大豆から作られる豆腐は、“Tofu”としてドイツ語化しているほどである。絹豆腐はディップやクリームにして、木綿豆腐は炒めたり、スモークして食べる。ほかに、生麩、ルピナ

スの種を使った食品も増えている。ただし、動物由来の食材を一切使わないビーガンの場合、鉄分やビタミンB<sub>12</sub>など、必要な栄養素が不足しがちとなる。そこで、商品テスト財団等は、不足する栄養素を意識的に補うよう助言するとともに、妊産婦と乳幼児はビーガンに不向きであると強調する。

さらに、ビーガン向け加工食品をテストしたのが、ハンブルク消費者センターである。ルピナスや生麩のソーセージ、大豆のハム、植物油のチーズなど20商品を対象とした。その結果、4商品で脂肪分が、5商品で塩分が多過ぎることが判明した。また、肉類やチーズに似せた食品では、味・食感を近づけるため、添加物や香料が多くなる傾向にあったという。そのため、同センターは、既製品はあまり頻繁に使わないほうが無難だと助言している。



## EU(欧州連合)

# 化粧品へのトリクロサン添加が原則禁止に

- 欧州委員会規則 第358/2014号 <http://eur-lex.europa.eu/legal-content/DE/TXT/PDF/?uri=CELEX:32014R0358&from=DE>
- ドイツ消費者センター総連盟 ホームページ <https://www.verbraucherzentrale.de/triclosan-verbot>
- フランス消費者同盟盟 ホームページ <http://www.quechoisir.org/sante-bien-etre/hygiene-beaute/actualite-produits-de-rasage-interdiction-du-triclosan>
- オーストリア消費者情報協会『消費者』2015年2月号 <http://www.konsumat.at/cs/Satellite?pagename=Konsument/MagazinArtikel/Detail&cid=318893342150>

清潔志向の高まりから、身の回りには「抗菌」をうたう商品があふれている。特に、多くの石けん、制汗デオドラント剤、歯磨き剤などに、殺菌・防臭の目的で添加されているのが、保存剤トリクロサンである。トリクロサンに対しては、健康や環境に悪影響を与えるという指摘が以前からあった。しかも、同物質が添加された抗菌石けんによる洗浄効果は、普通の石けんと変わらないとする見解もある。

このように、安全性や効果について議論の多いトリクロサンだが、EU(欧州連合)の化粧品規則(1223/2009)によると、化粧品全般で0.3%を上限に添加が認められていた。

しかし、同規則は改正され、2015年7月30日以降、同物質が添加された化粧品の販売が原則禁止となっ

た。もっとも、例外も多く、歯磨き剤、石けん、シャワージェル、制汗デオドラント剤(スプレー以外)、おしろい、除光液等は0.3%を上限に、洗口液は0.2%を上限に同物質の使用が認められる。一方、規則別表に掲載がない保湿クリーム、ボディローションなど、洗い流さない製品、肌に広く塗る製品への使用は禁止となった。

EUの新規制に対しては、「抜け道だらけ」という批判も出ている。消費者団体等は、同物質を含む製品を避けるためには、購入前に店頭で成分表示を確認するよう助言する。しかし、成分表示の文字は小さく、確認しにくいのが現状である。そこで、バーコードを読み取ることで、成分等が表示されるスマホのアプリを利用する方法もあると紹介している。